茅ヶ崎市芹沢柳谷戸サシバ営巣木調査

三井さんの写真とメモに、当方で知っている事を追記して下記報告します。

日時　　：　'06、9、9、　　10：00～11：00　晴れ

調査者　：　森　要　、　三井　修

- '05年の営巣木　（添付地図A点）

里山公園芹沢池の北東側で、谷戸縁から17m奥の西向き急斜面下部に位置する。高さ18m位、幹の周囲93ｃｍ（1.2m高）の杉の木で、根本より13m位の高さに樹幹型の巣がある。谷戸側の周囲半径10m以内には10本程の杉の木、営巣木よりも太い杉の木も生えている。大木ではエゴの木が3本＋他4本が生えている。谷戸反対側は真竹が迫り、コナラ林になっている。神輿道から約60mと近くそこの人の出入り多し。峰を越えた先であるので、その道から直接窺い知る事はできない。谷戸内左岸道からも約60mと近いが直接巣を見ることはできない。巣は直径35～40ｃｍ位、厚さ30ｃｍ弱位で、25ｃｍ位の細い枝で出来ていた。経年で巣は崩れかかっているが、しっかり残っている。巣立ち数2羽。

- '06年の営巣木　（添付地図B点）

芹沢池の北側200m位にあり、茗荷畑の縁から12m奥の北向き急斜面下部に位置する。高さ15m位、幹の周囲79ｃｍの杉の木で、根本より10m位の高さに樹幹型の巣がある。周囲半径10m以内には杉の木は無く、コナラやタブが20本以上ある。茗荷畑は枝谷戸の先にあり、本谷戸からは30m以上離れており、枝谷戸入口部は背の高い笹が生い茂っており、直接本谷戸からは窺い知る事はできず、そのため人の出入りが少ない。地面にまでは日が当たらず、薄暗い感じだ。巣は直径35～40ｃｍ位、厚さ30ｃｍ弱。やはり細い枝で出来ている。巣立ち数1羽しか確認できず。

尚、10年程前のサシバ繁殖状況全国アンケート回答でも、サシバは谷戸田沿いの斜面林それも、谷戸縁から僅か十数mにある針葉樹に営巣するのが多いとあり、今回の結果もそれに符合します。オオタカの巣のように中層域の開口部は殆ど無く、密集した樹木、枝に隠れた所にいずれの巣もある。

森　要
kmori@remus.dti.ne.jp